

日台関係の過去と未来



日時 2022年3月19日（土）

14時00分～16時30分（要申込, 参加費無料）

ZOOM によるオンライン開催（定員100名）

Zoom による参加可能な方に限ります。技術的なサポートは致しかねます。

台湾の農業経済・国際経済の専門家を迎え、宮崎の貿易パートナー台湾と日本の過去を理解し、その未来の関係を考えます（詳細裏面）。

★申込み方法【下記 URL から受付いたします。定員に達し次第、締め切りいたします。】

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZcpc-uspjwiH9E4hocdvJu4z1rPuolR4sY_

申し込み受付期間 2022年2月28日（月）～3月13日（日）

お問い合わせ先 Email: kikaku@miyazaki-mu.ac.jp



日台関係の過去と未来

2022年3月19日(土) 14:00~16:30, ZOOMによるオンライン開催(参加無料)

CPTPP加盟以降、農産品の貿易自由化が、宮崎の主要産業である第一次産業に対して構造転換を迫っています。今回、宮崎における第一次産業における輸出拡大機会を探るために、台湾の農業経済・国際経済の専門家を迎え、貿易パートナーである日台関係の過去を理解し、その未来について考えを深める機会を設けます。

ミニ・オンラインシンポジウムプログラム(使用言語: 日本語)

タイムスケジュール	題目	報告者
14:00	趣旨説明	宮崎公立大学 准教授 稲田 光朗
【第1部】 日台関係の過去: 嘉南大圳建設の効果		
14:10~14:50	農業用ダム建設の政策評価: 嘉南大圳を事例に	宮崎公立大学 准教授 稲田 光朗
14:50~15:00	質疑応答	
15:00~15:10	休憩	
【第2部】 日台関係の未来: CPTPPと台湾の農業貿易		
15:10~15:25	台湾 CPTPP 加盟への決意	国立台中 科技大学 郭 永興 教授
15:25~15:40	台湾における和牛の浸透	台湾農業科技資 源運籌管理学会 黄 靖嵐 副研究員
【第3部】 まとめと質疑		
15:40~16:30	宮崎と台湾間の貿易拡大に向けて・質疑応答	

【ミニ・オンラインシンポジウム参加にあたってのご注意】

- ZOOMの仕様や使い方に関するお問い合わせには対応いたしかねます。
- 安定したインターネット環境でご視聴ください。通信料等をご自身の負担となります。
- 投影資料等は配布いたしません。録音、録画、撮影、その他の複製行為はお控えください。